



あんしんを約束 おいしいを演出

sanshin



代表挨拶

あんしんを約束 おいしいを演出

わたしたちは、1956年(昭和31年)創業の業務用食器の専門メーカーです。事業部門のひとつとして食器の製造をはじめて以来、多くの皆さまのご要望にお応えすべく、そして「あんしんを約束 おいしいを演出」をカタチにしてお届けするために、全社一丸となり日々弛まず努力してまいりました。

わたしたちの食器をご愛顧いただいている皆さまに、そして、開発、生産、販売および物流など製商品のご提供に関わる業務のみならず食育活動、総務・経理など多岐にわたる分野でわたしたちの業務を支えてくださるすべての皆さまに、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

これからも「食の安心と安全」を追求するために、原料も含めた品質、機能そしてデザインなどのすべての点でご満足いただける食器をご提供し続けるとともに、こども食堂への未使用食器のご提供、食文化や資源問題等をテーマにした食育の出前授業やセミナー等での講義を通じてCSR活動にも取り組んでまいります。また、「いいものを長く使う」ということを環境対策への基本的な考え方として、より長くご愛顧いただける食器を製造する技術力を追求することに加えてリサイクル食器の新規商材開発などへの取り組みを通じて、微力ながら持続可能な社会の実現に向けて努めてまいります。

このように、食器本来の品質や機能という有形の価値の更なる向上に注力しつつ、ご提案内容を含めた基本的な業務品質、CSRやサステナビリティへの姿勢などの無形の価値も高めていくことで新たな価値を創り出し、僅かでも皆さまのお役に立てる会社であり続けたいと思います。そのために、いつも心耳を澄ませて皆さまのお声を傾聴させていただきます。

どうぞ今後ともご愛顧のほど、よろしく願いいたします。

代表取締役社長 増田 将和

企業理念・経営方針・行動指針

企業理念

食と健康を慈しむ食文化の担い手として、温もりのある新しい価値の創造を通じて社会に貢献します。

経営方針

私たちは、働きがいと持続性のある職場から、お客様のニーズに合った高い品質の商品と温もりのあるサービスを提供していきます。

また、企業市民としての責任をしっかりと自覚しながら、誠実で信頼に応える事業活動を行い、継続的な発展を目指します。

行動指針

1. 企業市民として法令遵守と企業倫理の実践に努めます。
2. 食器衛生安全および環境問題に積極的に取り組みます。
3. 事業活動のあらゆる分野でコスト意識をもち、創意と工夫を絶やさず改善に努めます。
4. 労使相互の信頼を基本に、社員一人ひとりの創造力、革新に挑戦する活力そしてチームとして団結力を最大限に高めるとともに、それらが持続する企業風土をつくります。
5. 組織内での権限委譲を進め、スピーディーな判断と実行を実現します。
6. 社員の行動、業績を公平に評価し、長い目で遇します。

会社概要

■ 社名	三信化工株式会社
■ 所在地	〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目10-2 住友生命西新橋ビル2階 TEL 03-3539-3411 FAX 03-3539-3447 (総務部)
■ 設立	1956(昭和31)年6月9日
■ 資本金	1億円
■ 代表者	増田 将和
■ 役員	代表取締役社長 増田 将和 常務取締役 高見 幸雄 取締役 松本 敦 取締役 猿渡(有坂) 眞一 取締役 児玉 安男 監査役 小池 誠一
■ 事業内容	業務用・給食用食器(プラスチック、強化磁器等)の製造 および販売
■ 従業員数	202名(2024年7月末現在)
■ 大株主	株式会社アクティス 森六ホールディングス株式会社
■ 主要取引銀行	商工組合中央金庫 千葉銀行 農林中央金庫 みずほ銀行 三井住友銀行 三菱UFJ銀行 横浜銀行 (50音順)
■ 主要仕入れ先	ヤマト化工株式会社 株式会社三好製作所 三坂ライト工業株式会社 株式会社山加商店 株式会社匠 森六ケミカルズ株式会社 三井物産プラスチック株式会社
■ 主要ユーザー	市町村教育委員会(小・中学校、学校給食センター) 幼稚園、保育園 大学病院、公立病院、私立病院、独立行政法人病院 老健施設、養護施設、委託給食会社 企業・工場等の社員食堂 防衛省(陸・海・空3自衛隊)、法務省施設

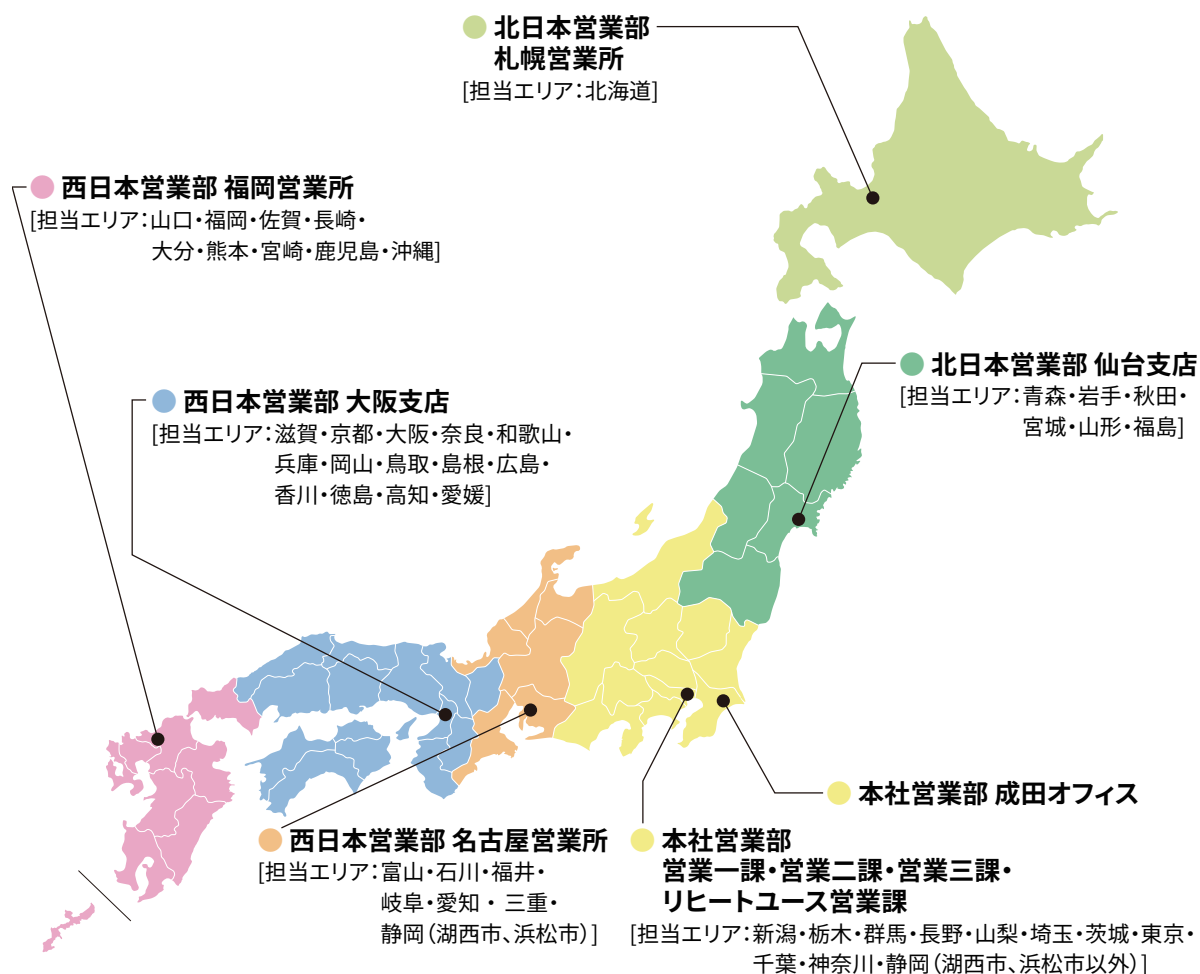


あしんを約束 おいしいを演出

sanshin



事業所一覧



■ 本社	〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目10-2 住友生命西新橋ビル	TEL 03(3539)3411 FAX 03(3539)3447
■ 成田工場	〒286-0804 成田工場 千葉県成田市長沼1558 第二工場	TEL 0476(37)1111 TEL 0476(37)2171 FAX 0476(37)1115 FAX 0476(37)2174
■ 北日本営業部 札幌営業所	〒003-0004 北海道札幌市白石区東札幌四条6丁目4-12 メモリアル88ハイツ	TEL 011(846)0930 FAX 011(846)0933
■ 北日本営業部 仙台支店	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1丁目12-30 太陽生命仙台駅北ビル	TEL 022(263)3401 FAX 022(263)3402
■ 本社営業部	〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目10-2 住友生命西新橋ビル	TEL 03(3539)3414 FAX 03(3539)3416
■ 本社営業部 成田オフィス	〒286-0804 千葉県成田市長沼1558	TEL 0476(37)1113 FAX 0476(37)1117
■ 西日本営業部 名古屋営業所	〒465-0024 愛知県名古屋市名東区本郷3-135 本郷インタービル	TEL 052(769)6560 FAX 052(769)6561
■ 西日本営業部 大阪支店	〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1-2-12 本町平成ビル	TEL 06(6534)8077 FAX 06(6534)8078
■ 西日本営業部 福岡営業所	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3-12-1 アバダンント95	TEL 092(413)3007 FAX 092(413)3008

環境への取り組み

環境保全への取り組みは、あらゆる企業が事業活動の前提としなければならない重要課題となっています。

当社は、2005年に給食用食器業界で初めてISO14001(環境マネジメントシステム規格)の認証を成田工場にて取得致しました。以来、環境保全への取り組みを全社一丸となって積極的に推進しております。



ISO14001 成田工場にて認証取得

品質管理保証への取り組み

当社の基本方針である「顧客ニーズにフィットした高い品質の商品と、温もりあるサービスの提供」を継続的に実現するため、2009年にISO9001(品質管理・保証の国際規格)の認証を成田工場にて取得致しました。

この品質管理・保証のグローバルスタンダードである品質マネジメントシステムにより品質方針を定め、管理組織体制を強化し品質保証活動に取り組み、品質向上によるお客様の満足する「製品とサービス」の提供を推進してまいります。



ISO9001 成田工場にて認証取得

サービスと情報の提供

多くの商品をご覧いただくために
ショールームを充実し、
日本各地の展示会に出展しています



最新情報は「ホームページ」に掲載しています
お問い合わせやカタログ希望の際にもご利用ください

■ <https://www.sanshin-kako.co.jp/>






あしんを約束 おいしいを演出

sanshin



沿革

年	
1956	6月9日、合成樹脂原料工業薬品及び各種合成樹脂製品の製造販売を目的として、資本金100万円で設立
1960	資本金500万円に増資
1961	ポリエチレン製フロートを発売
1962	資本金1000万円に増資 / 東京工場操業開始 / ポリプロピレン製給食用食器を発売
1963	資本金5000万円に増資
1964	資本金1億円に増資
1967	ポリプロピレン製「ランチ皿」を発売 / ABS製「フロート」、ポリエチレン製「大型フロート」を発売
1969	千葉工場(成田市)操業開始
1971	千葉工場を拡張し、東京工場を閉鎖
1972	ポリプロピレン製カラー食器を発売
1977	FRP製エスタートレイを発売
1982	陶磁器風質感のメラミン製食器を発売
1986	あたたかい食事を楽しめる、初めての適時適温給食用保温食器「アーカディア」を発売 同カート「アーカディアディスペンサー」を発売
1988	千葉工場がJIS認可を取得 / 強化磁器「パワーセラ」を発売
1989	適温食器用ホットプレートシステムを発売
1990	ポリカーボネート製「ランチトゥデイ」を発売
1992	強化ナイロン製「アミハード箸」を発売
1993	強化磁器「有田焼」を発売
1994	千葉工場新建屋竣工 / 適温給食用保温食器「アーカディア漆器」を発売
1995	断熱材使用の宅配容器「ファミリーズ」を発売
1996	あらゆる人が食事を楽しめる自助食器、自助スプーン・フォークを発売
1997	ランチルーム用適温給食搬送機器「サーモスカート」を発売
1998	よりいっそう安全で使いやすいポリプロピレン製食器「ウィンサム」を開発・発売 / 食器かご「SKラック」を発売
1999	千葉工場内にテストキッチンを設置して、クックチル用の食器開発、調理レシピ作成に活用 事業拡大のため、エレナ工業からのフォイル、キャラクター事業を継承 / 宅配容器「グルメ御膳」を発売
2001	安全で着色しない新素材ポリエチレンナフタレート製食器「エポカル」を発売 保温食器「サーモス・アーカディア」を発売
2002	ヤマト化工株式会社が筆頭株主になる
2003	バイオマスプラスチック製の食器を開発、農林水産省食堂にて試験使用開始 陶器調漆器「楽」、「ハイパークリスタル」を発売
2004	グループの持株会社として株式会社アクティスが設立、筆頭株主になる 環境に優しい再生原料のポリプロピレン製「パブリックトレイ(エコマーク認定商品)」を発売
2005	3月から9月まで愛知県で開催された「愛・地球博」のレストランコーナーで、バイオマスプラスチック製食器がリターンナブル食器として採用、使用 千葉第二工場(成田市)竣工、稼働を開始 11月環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を千葉工場にて認証取得 エポカルをさらに使いやすく改良した食器「E-エポカル」を発売 衝撃に強く耐熱性の高い超耐熱ABS製「ABSトレイ」を発売
2006	創立50周年を迎える

年	
2007	第1回キッズデザイン賞コミュニケーションデザイン部門「われたらばする」入賞 バイオマスプラスチック製食器「コーンは〜と」を発売
2008	かつてない強度を実現した構造強化磁器「セラクレス」を発売 強化磁器「縋い」プロジェクト、2008年度グッドデザイン賞受賞 / 第2回キッズデザイン賞入賞
2009	品質管理・保証の国際規格ISO9001を千葉工場にて認証取得
2010	カーボンフットプリント(CFP、CO ₂ 排出量表示)当社15アイテムの認証を業界内初取得 「1回使用あたり」排出量表示をCFP試行事業として初実施
2011	熱風再加熱カート対応食器「ほっと倶楽部」を発売 / 第8回LCA日本フォーラム表彰の奨励賞を受賞
2012	E-エポカル全製品においてCO ₂ 排出量を表示(CFPシステム認証による) 第14回グリーン購入大賞 優秀賞受賞
2013	本社ショールームオープン
2014	千葉第二工場の拡張
2015	本社ショールーム移転・リニューアル
2016	創立60周年を迎える / 広島営業所を大阪支店に統合
2017	劣化知らずの印字を実現した「トレイ+ (トレイプラス)」を発売
2019	農林水産省が発信する日本の食・食文化をテーマとしたオンラインページ ([Google Arts & Culture]にて公開)への和食器セット提供
2021	本社移転 / 関東圏に所在する東京第一営業所・第二営業所、北関東営業所および東関東営業所を「本社営業部」として統合 千葉工場・千葉第二工場を成田工場・成田第二工場へそれぞれ名称変更
2022	公式 Youtube チャンネル開設 
2023	多様な再加熱に対応するハイスpek食器「Reheat ware [®] 」を発売 新品原料は一切使用せず、使用済み食器を100%リサイクルしてできた「サステナブル・トレイ」を発売 消費者庁「令和4年度消費者志向経営優良事例表彰」において「消費者庁長官表彰」を受賞 子育てサポート企業として厚生労働大臣より「くるみん認定」を初取得



「E-エポカル」



「強化磁器」



「メラミンウェア」



「強化磁器」



「弁当箱」



「メラミンウェア」



「保温食器 アーカディア」



「Reheat ware」



ユニバーサルシリーズ「優々」



あしんを約束 おいしいを演出

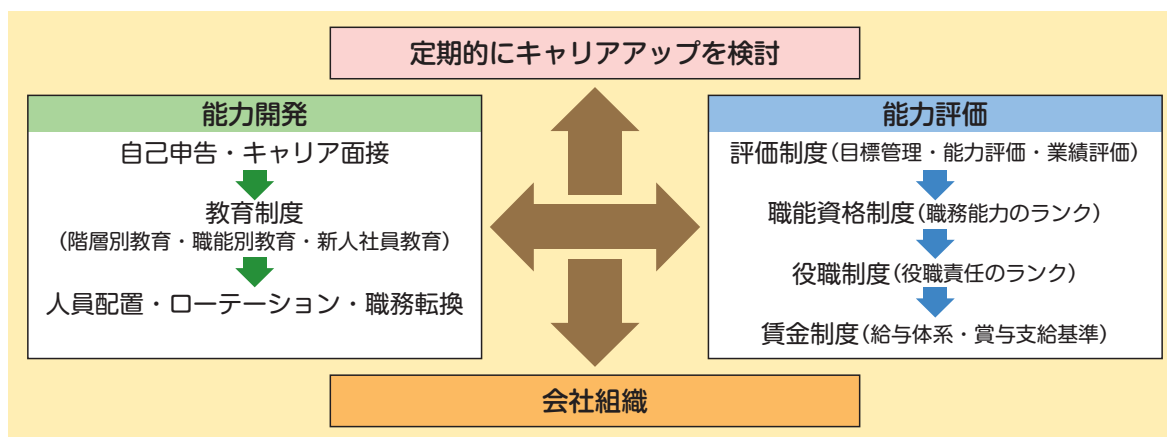
san shin



人事制度

当社は、人をどう成長させていくか、その成長に沿って企業をどう成長させていくかを常に考え、人事制度を運用しています。

人事制度は、社員の能力を伸ばす「能力開発」と、社員の能力を測るための「能力評価」に分かれています。社員の適正や能力および業績の評価は、結果だけの評価ではなく、本人と直属の上司との目標設定やヒューマンスキルのステップアップ目標を十分に話し合い、その評価とフィードバックを、業績は6ヵ月後、能力は1年後の直属の上司、その上の上司、管理部門など多方面から検証し、キャリアアップにつながる仕組みになっています。



育成制度

当社では OJT (On-the-Job Training) 教育とは別に、社員の個別スキルを高めるための支援として、次のような OFF-JT (Off-The-Job Training) 教育を実施しています。

両教育を効果的に組み合わせることで、自立的な人材育成を心掛けています

役職	全社共通実施		部門別研修					
	組織機能強化	個別課題対応	職種別専門スキル開発					
	階層別教育	テーマ別研修						
役員層	役員研修	決算書研修	コンプライアンス研修	ハラスメント研修	専門スキル開発研修	経験者採用時研修	現場監督職研修 (他社工場見学含む)	職種変更者向け研修
管理職層 (部長級)	経営者・幹部研修							
管理職層 (課長級)	マネジメント合宿研修							
中堅層	マネジメント1日研修							
	中堅社員研修							
新人・若手層	若手社員研修							
	新入社員研修							

※主な研修を抜粋

先輩社員 Interview

Q 仕事内容を教えてください。

A 現在は担当エリアの学校、病院、高齢者施設、販売代理店へ訪問し、食器のご案内やご提案をしています。

Q 職場の雰囲気はいかがですか？

A 皆さん気さくで話しやすく、疑問があればだれにでも気軽に聞きやすい職場です。異業種からの転職者が多い会社ですが、しっかりと研修があり、業界のことを学べる環境が整っています。大きな案件や難しい対応をする時は、必ず上司や先輩に同行していただき、不安の少ないように日々の仕事ができています。

Q 仕事のやりがいや目標を教えてください。

A 自身の提案をお客様に承諾いただいた際にやりがいを感じます。当面の目標は、「～といえば〇〇」と商品についての知識をつけ、社内外の方から私を第一想起してもらえるような営業になることです。まだまだ知識も経験も浅いですが、一日でも早くお客様から信頼される営業になれるように頑張っていきます。



西日本営業部 大阪支店
Tさん



成田工場 製造課
Kさん

Q 仕事内容を教えてください。

A 学校用給食食器などを製造する射出成形機のオペレーター業務を行っています。主な内容は、検品作業の他に金型の交換や細かな機械の調整・成形設備の管理などを行います。

Q 職場の雰囲気はいかがですか？

A みんな仲が良く、とても明るい雰囲気の職場です。温かい人が多く、誰かが大変な時はみんなで協力できる体制が整っており、とても働きやすい環境です。

Q 仕事のやりがいや目標を教えてください。

A 射出成形機のオペレーター業務は覚えることが多く、思い通りにいかない事がありますが、達成出来たときにやりがいを感じます。今後もお客様により良い製品を使って頂けるように、日々スキルアップを目指して頑張っていきたいと思っています。

育休取得者 Interview

Q 育児休暇を取得しようとしたきっかけを教えてください。

A 以前社内でも育休説明会を開かれ、過去に先輩も育休取得実績があり、取得しやすい雰囲気でしたので、上司とも相談し、3ヶ月間の取得を決意しました。

Q 育休を取得した感想は？

A 3ヶ月あっという間でしたが、育児を覚えて、子どもの成長を感じられる良い時間でした。職場からは育休前、上司・同僚より「奥さんをサポートしてあげてね」と送り出してもらい、復帰後も温かく迎えてもらえました。

Q 今後について教えてください。

A 今回の育休で、職場の皆さんにフォローしてもらえる環境がとても大事でありがたいと感じました。工場ではまだ育休取得者は少ないため、誰でも気軽に育休取得できる会社になるように、今後は育休取得する方をサポートしていきたいです。



成田工場 フォイル課
S係長
育児休業：約3ヶ月取得